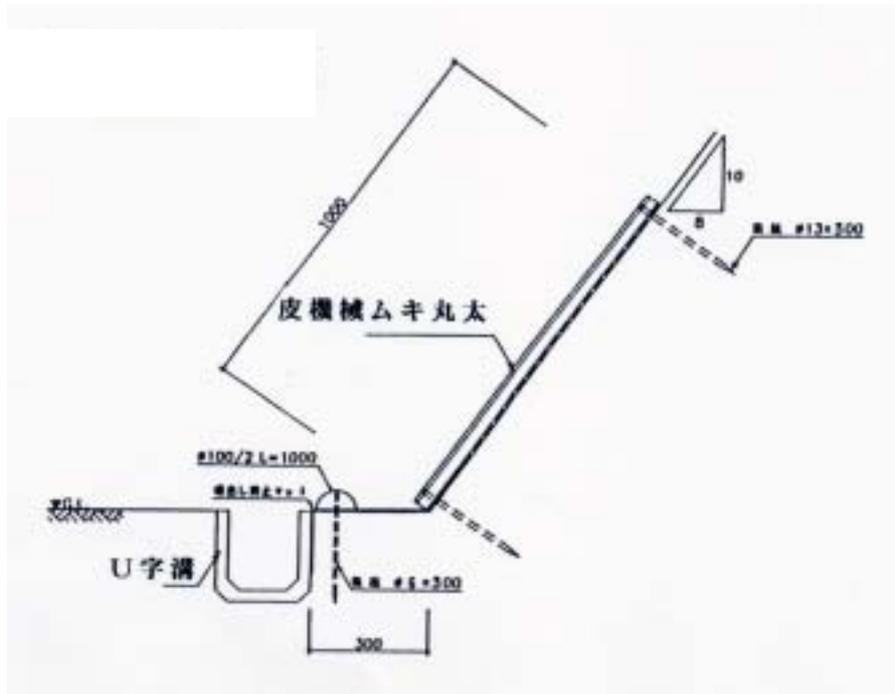


事例 NO. 3

事業の種類	道路・街路	
環境配慮の概要	間伐材等を用いた景観配慮 (切取法面への間伐材利用による排水施設の効用確保と周辺景観との調和)	
事業名	森林居住環境整備事業 沓ヶ原女節線開設工事	
事業主体	広島県(担当機関:備北地域事務所農林局林務課)	
実施場所	広島県双三郡君田村	
実施期間	平成12年~平成14年	
事業概要	全体事業費	10百万円
	施工区間等	開設工事の切取法面区間 約300m
	事業の目的・経緯等	水土保全林内の林道開設において,公共事業への天然資源の利用による環境に優しい工法として採用し,森林資源の持続的利用の観点から,間伐材等の利用の推進を目的に実施した。
環境配慮の内容	<p>工法等</p> <p>(1) 林道の開設は,森林・林業の生産基盤の整備として山地の形状に沿った線形や縦断勾配を採用し,必要最小限の形状変更,切盛土工量の均衡など森林環境に配慮したエコ林道として実施している。</p> <p>(2) 工事完了初期に,法面及び路面の浸蝕が発生することがあることから,排水施設の効用確保を行うと共に,自然還元材料(間伐材等)を使用することにより自然環境への配慮を行った。</p> <p>(3) 間伐材を法面の下部に配置し,更に排水施設の盛土の浸蝕を防止するシートを設置し,法面全体の安定を図りながら排水機能を確保し,道路自体の安全確保を行った。</p>	
施工後の状況	<p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林内に調和した景観を有している。 ・法面の緑化と排水施設の確保が効果的に機能している。 ・法面緑化の伸びすぎた草木による排水機能の低下がない。 ・排水施設の維持管理のための草刈等が軽減できている。 ・タバコの投げ捨てなどによる法面草木への延焼防止機能を果たしている。 	
留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・開設初期の施設の安定を目的に工法採用しているが,長期的な効果を期待する場合には耐久年数を確保する必要があることから,木材の規格や防腐処理等を検討する必要がある。 	

(図面, 写真, 説明)



【木製法尻覆工標準図】



【施工後の状況】

出典